



サツマイモ基腐病対策は 総合的な取組が必要です

収穫後の「耕うん」は行いましたか？

令和6年産の基腐病対策は始まっています。

基腐病菌は、収穫後の残さで越冬し、翌年の発生源となります。

令和6年産の基腐病の発生を抑えるために、**残さの持ち出し、速やかな耕うん**により残さの分解を促進しましょう。また、耕うん後に再萌芽するため、**月1回程度、複数回の耕うん**が重要です。

収穫の合間に早期耕うんを！！



くずいも等は
翌年の発生源！



速やかな耕うん

耕うん後に、再萌芽する
ため、複数回耕うんを！

油断大敵！！

現時点（R5年8月上旬）では、基腐病の発生は低く抑えられていますが、今後の台風や大雨の影響で、発生が一気に広がるのが懸念されます。

令和6年産は、一層の被害軽減を図るために、**油断せずに収穫残さをほ場に残さない対策**を行きましょう。

